

JATピックアップ

JA広報誌の記事を中心に毎月のトピックスを紹介します。

2010年7月



小麦刈取りスタート!

札内地区で秋まき小麦の収穫が7月下旬からスタートし、圃場では大型コンバインの轟音がこだましています。

今年の小麦作付面積はホクシン585ha、きたほなみ215haの計800ha。ホクシンの収穫は今年が最後となり、来年からは全てきたほなみに切り替わります。

今年は春先の天候不順により生育が心配されましたが、6月以降の高温と日照でほぼ平年並みに回復。コンバインによる収穫作業は7月23日からスタートしました。今年の反収予想はホクシンが10a当たり9.5俵、きたほなみが同11.2俵で、札内地区全体で



は約8万俵の収量が見込まれています。

当組合では今年度、大型コンバイン1台を更新。23日の収穫開始を前に入魂式を行い、収穫作業の無事安全を祈りました。



新規就農者激励会



激励会に出席した（前列右から）田辺さん、石川さん、中村さん、高田さん

今年対象となったのは、高田稔さん(36)＝昭和・高田健一さんの後継者、田辺雄一さん(22)＝西和・田辺忠幸さんの後継者、中村友作さん(22)＝途別南・中村由治さんの後継者、石川賢太さん(22)＝日新1・石川達敏さんの後継者、佐藤久紀さん(36)＝昭和・大野和政さんの後継者＝の5人。

激励会には佐藤さんを除く4人が出席。まず高橋組合長が「農業情勢は厳しいといわれますが、後継者として大きくはばたき、札内地区の新しい担い手として活躍されることを期待します」と熱くエールを送りました。

高橋平明幕別町副町長、山口秀朋青年部長、中島信子女性部長の祝辞に続いて新規就農者が紹介され、高橋組合長から1人ずつにJA各連連名の激励状が手渡されました。

続く懇親会では、高橋専務理事の音頭で乾杯、後継者の皆さんが組合役職員とともに農業経営や将来の夢について和やかに懇談しました。

札内地区で今年春までの新規就農した後継者の激励会が6月24日、農協会議室で開かれ、明日を担う4人の後継者の皆さんが農業経営への決意を新たにしました。

